

「2005年版 社会環境報告書」を発行

鉄軌道事業における「安全の追求」について記載したほか、第三者による環境経営評価意見書も掲載

東京急行電鉄株式会社

東京急行電鉄(本社:東京都渋谷区、社長:越村敏昭)では本日、「2005年版社会環境報告書」を発行しました。

当社では2000年から環境報告書を発行してきましたが、2004年版からは環境への取り組みに加え、社会との関わりからみた企業活動に関する記載を充実させ、「社会環境報告書」として発行しています。

今回は、鉄軌道事業、不動産事業におけるトピックスを紹介する「ハイライト」欄を拡充したほか、社会的に関心の高い鉄軌道事業の「輸送力の強化」や「安全の追求」についても記載しています。また、当社の環境負荷データについても、5年分を掲載しました。さらに、第三者意見として、株式会社環境管理会計研究所による環境経営評価意見書も掲載しています。

なお、当社では2005年4月に、新たにCSR推進部を設置し、環境を含めたCSR(社会的責任)に対する取り組みを一層強化しており、2005年版社会環境報告書では社会的責任に関連した取り組みの紹介を増やしています。

「2005年版社会環境報告書」の概要は次のとおりです。

「2005年版 社会環境報告書」の概要

サイズ A4版 56ページ

主な内容

- ・ハイライト(開業80周年を迎えた世田谷線、住み替え促進事業「ア・ラ・イエ」)
- ・コーポレートガバナンス
- ・環境マネジメントシステム(全社の環境目的・目標と実績、環境会計ほか)
- ・各事業(鉄軌道事業、不動産事業)における具体的な取り組み
- ・コミュニケーション活動(お客さま、株主・投資家、従業員とのコミュニケーション)
- ・環境負荷データ(2000年度～2004年度)
- ・東急グループの社会貢献活動・環境活動
- ・第三者意見(株式会社環境管理会計研究所による環境経営評価意見書)

以上